

授業科目名	論理学	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブタイトル	論理的なものの考え方を知る		担当者	柳澤 謙次		
講義概要	<p>【概要】</p> <p>いわゆる「学としての論理学」だけではなく、論理的なものの見方や考え方のための技術・方法を講じる予定です。</p> <p>具体的な内容およびレベルは、最初の数回の概括的講義の後、履修者の諸訴状況に応じて、適宜、決定し進めていく。</p> <p>【到達目標】</p> <p>間違えた論理に気付く力を養うこと</p>					
履修条件	(特になし)。					
教科書・参考書	<p>【教科書】(特になし)。教材としてプリントを毎回配布する。</p> <p>【参考書】(特になし)。講義中、適宜、紹介する。</p>					
授業回数	内容					
1	論理学のガイダンス ①論理とは？論理学とは？					
2	" ②論理的でない考え方！					
3	古典的な推論の方法 ①					
4	" ②					
5	" ③					
6	" ④					
7	" ⑤					
8	古典的な推論での諸問題					
9	現代的な(記号を用いての)推論の方法 ①					
10	" ②					
11	" ③					
12	" ④					
13	コンピュータと論理 コンピュータはどのようにして計算するのか？①					
14	" " ②					
15	補論					
評価方法	講義中に、いろいろな問題を出して解いて貰います。また、後で提出して貰う課題も有ります。これらと併せて「平常点」で評価することを、一応、考えています。					
評価基準	上記授業単元の内容について、此れを良く理解し、適切に表現出来た者には「A」を与える。単元の内容に付いての理解や表現に不適切な点がある者は其の程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容に付いての理解自体が不十分な者は其の程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	開講された趣旨・目的を考慮しつつ、履修生諸君の諸状況に合わせて、講義内容と進度を変えることがあります。履修生諸君に多くの課題を出す、「演習」的性格を持つ講義であり、実習により理解・納得して次の段階へと進む学習です。従って、欠席した場合は、後の理解が非常に困難となります。					